

令和 6 年度第 3 回伯耆町子ども・子育て会議 議事録

日 時 令和 6 年11月26日（火）13：30～14：35

場 所 伯耆町農村環境改善センター 会議室

出席委員 9 名

神庭 美輝 （子育て支援センター利用者）
 岩崎 奈美 （岸本小学校 P T A）
 山根 佳奈子（二部小学校 P T A） 【会長】
 相見 光子 （小規模保育所こどもパル）
 木島 久美 （子育て支援センター）
 中島 寛 （溝口小学校放課後子供教室）
 長田 修平 （民生児童委員協議会）
 幅田 典代 （溝口小学校）
 藤原 美枝 （教育委員）

欠席委員 渡邊 智之 （あさひ保育所保護者）【副会長】

椎木 慈 （ふたば保育所・あさひ保育所）
 森 千代美（岸本放課後児童クラブ）

事務局 福祉課（住田 浩平、北垣 栄美子、後藤 彰信、松浦 夏穂）

健康対策課（中原 孝訓、多久和 由恵）

欠席：教育委員会事務局（乗本 千都）

1. 開会

発言者	発 言 内 容
会長	本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。 定刻により、只今より、令和 6 年度第 3 回伯耆町子ども・子育て会議 を開会する。 本日の出席状況等について、事務局より報告を求める。
事務局	本日は、委員総数12名のうち 出席委員 9 名と委任状提出委員 2 名の 計11名で、委員の半数以上に達しているため、伯耆町子ども・子育て 会議条例第 6 条の規定に基づき、本会議が成立していることを報告す る。

2. 議事

発言者	発 言 内 容
会長	議事に入る。 （1）「伯耆町こども計画（素案）について」事務局より説明を求め る。
事務局	（資料 1）に基づき説明。）
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	計画に関する資料の配付が遅く、目を通す時間が少なかった。しっか り読みたいので、早めに配布してほしい。

	この計画は誰が見るものか。どのように広報する予定か。
事務局	配付時期についてはお詫びする。今回の会議ですべてを決定するものではない。引き続き、ご確認いただき、修正等があれば事務局に連絡してほしい。 計画の周知範囲は、すべての町民。ホームページ、広報誌、有線テレビジョン放送、関係機関への誌面配付での広報を予定している。
委員	すべての町民を対象にしているのであれば、わかりやすい言葉遣いにすべき。専門用語や難しい言葉があり、一般の人にはわかりにくい印象がある。
事務局	難しい言葉は表現を変え、専門用語は解説を別途添付することを検討する。
委員	次の３点について、改善または説明を求める。 まず、データの表し方を検討してほしい。例えば資料１５ページ（６）について、表ではなくグラフのほうが変化が分かりやすいと思う。表を見ただけでは読み取るのは難しいと感じる。 次に、用語の説明が後から出てくるものがあり、先に提示してもらえると理解しやすい。例えば〈地域子ども・子育て支援事業①〉のところ。 最後に、資料１１０ページの放課後子供教室の説明には「放課後児童クラブとの連携により一体的に運営しています」とあるが、３２ページの説明には「各放課後児童クラブとの共同事業も計画します」とある。記載が異なっているが、どのような違いがあるのか。「一体的な運営」と「共同事業」は同じ意味か。
事務局	表で読み取りにくいデータはグラフ等の他の表現方法に変更し、また、用語説明は、注釈または解説を付けることを検討する。 一体的という表現は、一般的な言葉の意味と国が差し示す言葉の意味が異なっている。国が言うところの一体的な運営とは、同一学校敷地内でそれぞれに事業実施をしていて、子供教室開催時に参加可能な状況のことを指す。 一般的な意味合いでの一体的な運営をできるのが理想ではあるが、施設上の受入上限や職員確保によって、難しさがある。溝口小学校の放課後子供教室では、放課後児童クラブに来てから放課後子供教室に参加するための人的環境が確保できたが、岸本小学校のほうは児童数が多いことなどから対応が難しくなっている。岸本小学校については、来年度は原則放課後児童クラブか放課後子供教室のどちらかを利用する方向で調整中。ただ、相互の交流を図れるよう、頻度は未定だが、一緒に活動できる共同事業の実施を検討している。
委員	こども計画を読んだ人が、伯耆町はいいまちだなどと思える計画にしていけないといけない。そうすると、長田委員が言ったように、難しい言葉などを言い換える必要があるように思う。
委員	子育て支援センターについて、第２期計画には事業計画の中に支援センターの記載がなかった。県のこども計画を見ると、子育て支援センターはこども家庭センターに組み込まれるということかと思ったがどうか。

事務局	こども家庭センターに組み込まれるということではない。こども家庭センターというのは、健康対策課が担当する子育て世代包括支援センターと福祉課が担当する子ども家庭総合支援拠点の機能が一緒になったもののことを指す。 自治体によってどの機能や事業を含むのか、その運用形態は異なると思うが、伯耆町では資料1 97ページに記載の内容が実施される。
委員	承知した。 加えて、資料1 26ページ、子育て支援センターの欄に〈地域子ども・子育て支援事業⑤〉とあるが、〈地域子ども・子育て支援事業⑬〉の間違いではないか。
事務局	お見込みのとおり。訂正する。
委員	こども計画は、こども基本法により新たなスタートになり、こどもが権利の主体者であることが重要なポイントだと思うが、そのあたりを伯耆町はどう捉えてどのようなことをしていくかはどうか。
事務局	おっしゃるとおり、そこはこども計画の根幹にかかわってくる分野になるが、今まで明確に記載をしていなかったため、どのように位置づけるのかを熟慮している。資料1 27ページ施策2の中にもまだ検討中としている部分があるので、そのあたりを検討する中で位置付けを進めていきたい。
委員	例えば、こどもが自分たちに意見表明権があることを知るのも一つではないかと思うし、この計画の中にこどもの意見を反映させることも必要なのではないかと思う。 もう1点は、切れ目のない支援について、計画を読むと就学前のことは手厚いと思うが、中高生へのこどもたちへの切れ目のない支援というのはもう少し整理したほうがいいと思った。県のこども計画を見ていると、未就学、学童期、思春期の支援と段階ごとに区別がしてある。これを見ながら、伯耆町にはある、ないというふうに事業を整理する必要があるのではないかと思う。
事務局	当初は、子ども・子育て支援事業計画の見直しで開始した中で、国等の動向もありこども計画として一体的な策定をしている。本来の手順からするとこどもの意見を取り入れる必要があるが、スケジュール等を踏まえて、今年度中にまとめたかたちでの計画策定を行い、今後意見を取り入れながら見直しを図っていきたいと考えている。 教育委員会部局の関係する事業も多くあるが、県計画等とのすり合わせも必要になってくるかと思うので、引き続きご意見いただきながら進めていきたい。
委員	こどもたちへの意見募集は、タブレットを使えばすぐにできるのではないか。
事務局	その件については後ほど事務局から説明する。
委員	評価指標の目標数値が、前回と同じでよいのか。すでに29.1%あるのに目標が30%というのは低すぎるのではないかなと感じる部分がある。
事務局	評価指標の目標数値は、アンケートの回答結果によるものが多く、目標数値をどの程度にするか決めかねているところ。委員みなさんのご

	意見をいただいて決めていきたい。
委員	承知した。 アンケート実施方法について、子育て世代には5分以上のアンケート回答は無理だという意見を聞いている。一度に多くの質問をするのではなくて、質問と時期を分けて、手厚く取ると回答しやすいと思うので、ぜひ反映していただきたい。
委員	計画内容とはずれるかもしれないが、事業のことについての質問。 たとえば不登校の支援について、資料には関係者が集まって話すといったことが書いてあるが、実際に不登校児の保護者の話を聞くと、不登校の保護者同士で集まる機会がないとのことだった。そういったことはどうにかできないのか。 また、鳥取県子育てガイドブックに、日南町には0歳児の預かり保育があると書いてあるが、他町には記載がない。実施有無の差の理由は何か、課題があってできないのか知りたい。
事務局	預かり保育については、かなりハードルが高いと認識している。まず受け入れの体制が取れるかどうかと、人口規模の差が大きな要因となっている。利用時間や場所は限定されてしまうが、ファミリーサポート事業で対応できる場合がある。 不登校については、本日教育委員会部局が欠席をしているため詳細は不明だが、何らかの課題としてとらえていると思われるし、声をあげていただければ事業化できるものは事業実施に向かえるのではないかと思う。 また、不登校については、子ども家庭総合支援拠点でも教育委員会と連携して相談にのっているところ。相談を受けたのち、保護者に対するカウンセリングを実施したり必要に応じて医療機関につないだりしている。学校長や教育相談の先生からも直接連絡をもらって、不登校になる前の登校渋りの段階からの相談も受けている。
会長	続いて、(2)「その他」事務局より説明を求める。
事務局	特になし。

4. その他

発言者	発 言 内 容
会長	続いて、(1)「パブリックコメント（意見公募）の実施について」事務局より説明を求める。
事務局	(<u>資料2</u>)に基づき説明。)
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	パブリックコメントで見せる計画は、今回の資料と同様のものか。例えば「検討中」と記載されているところはそのまま出すのか。
事務局	お見込みのとおり。
委員	小学校5年生と中学校2年生に意見募集をするとあるが、それはどのような内容のものか。校長会で共有が必要と思う。
事務局	伯耆町をどんな町にしたいか、町に何を期待するか等を聞く予定。アンケート案を作成し、後ほど送付する。

委員	小学校１～３年生の保護者にもアンケートをしてはどうか。その年代が一番悩みの多い時期で、今回計画策定にあたりその年代にアンケート調査していないのは残念。ぜひ実施してほしい。「こどもまんなか」にするためにはまず保護者の困りごとを減らすことが前提にある。困り感の強い年代の声を聞いてほしいと思う。
会長	続いて、（２）「次回会議の開催日について」の説明を求める。
事務局	次回の開催は令和７年２月５日を予定したいが、委員からの意見・要望を伺いたい。
会長	開催日程について意見を求める。
	（意見なし）
会長	では、次回の開催は令和７年２月５日水曜日の13時30分からとする。
会長	その他に意見等はないか。
	（意見なし）

５．閉会

会長	本日の会議の日程は全て終了した。 これをもって、令和６年度第３回伯耆町子ども・子育て会議を終了する。
----	---